

城端地域 会議録

件名	城端地域提言実現検討組織による第6・7回会議		
日時	令和元年 10 月 11 日（金） 19 時～21 時	場所	城端庁舎 2 階 202 会議室
出席者	検討組織メンバー：8 名、 まちづくり推進係：2 名		
内容	複合交流施設に入れる機能の配置に係るラフ図の作成		
概要	◆ラフ図作成作業の説明（事務局より） ◆質疑応答（●…メンバー発言、→…事務局発言） ●市民センター、商工会城端事務所、社会福祉協議会城端支所は、配置される人数が未確定なのに、部屋の広さが決められないのでは。 →城端の市民センターは5人。商工会城端事務所、社会福祉協議会城端支所の配置される人数は未確認であるが、それぞれの事務所の床面積は、あくまで仮定の床面積として考えていただきたい。 ●各種団体で資料の印刷等に利用していたスペースは行政機能にすればよいのか？賑わい機能にすればよいのか？ ●その機能も、ラフ図の中に加えれば良いのではないのか？ →必要な機能は、追加で入れていただきたい。 ●市民センター、商工会城端事務所、社会福祉協議会城端支所の事務所は、ワンフロアにするということではなかったか。 →以前にも説明しているが、システムのセキュリティの都合があり、市民センターは他の事務所とワンフロアにすることは出来ない。 ●それでは、提言検討の時と話が全く変わってくるではないか！ →これまでもお伝えしているが、提言検討の時には、自由な発想で検討していただいたが、提言の実現に向けたこの会議では、行政として出来ること、出来ないことを示させていただくので、提言の内容と異なる場合があることをご理解いただきたい。 ●ワンフロア化の件は、オープンスペースの中に市民センターを入れるということで始まった話。提言ではコンシェルジュとして観光協会に入ってもらおう想定をしていた。 →待合を共有して、終業時刻になればそれぞれの窓口を閉じる。事務所どうしの行き来は出来ないが、それぞれの窓口からは待合が見渡せる、というような方法も考えられるのでは。 ●平屋が原則か？それとも2階建ても可能か？ →どちらかに限ったものではないが、障がい者や高齢者を始め、様々な方の昇降の都合を考えると、平屋の方がベターかと。 ●自分が以前、基本は平屋で、会議室は2階へ、という意見を出した。建物の面積を減らすことを重視するなら平屋が良い。提言では新築すると言っていたはずで、既存庁舎建物の改修による利用の話はないはずだ。 →今回は、建物の新築、改修に因らずに機能の配置を考えていただきたい。メンバーの皆さんそれぞれに考えがあるはずなので、それをラフ図に盛り込んでほしい。 ●提言書を提出した時には新築と言っていたのに、未だにその方向性が定まらない。 →毎回のようにお伝えしているが、建物ありきは二の次。人々が集まってどんなことをするのか。この建物にどんな機能を持たせて、地域の人とどんなことをするのかを考えてほしい。今ここでは、新築、改修の議論はなしにして、建物に盛り込む機能の配置を考えてほしい。 ●建物の新築、あるいは改修は、ある時点で決めるべきだろう。 ●まずは、どんな機能を盛り込むのかを優先すべきではないか。但し、今回の作業だが、自分たちだけで配置を考えるのは、なかなか困難である。 →念のため、こちらの方で配置を4案ほど考えてきたので参考にしてほしい。各グループで機能の配置のアイデアを話し合っていたきたい。 ◆グループ別ラフ図作成作業（Aグループ、Bグループ） ※詳細は、会議録別紙のとおり ◆次回会議 日時…令和元年 11 月 5 日（火）午後 7 時から 場所…城端庁舎 2 階 202 会議室 内容…①複合交流施設に入れる機能の配置に係るラフ図の作成 ②新たな賑わい機能の具体的な内容の検討		

城端地域提言実現検討会議

(第7回)

7

R元.10.11(金)



◆ みんなでラフ図を考えよう ◆

- ・ 事務所スペースは、開けている時はみんなの顔が見える。
(閉める時は別々にする。

このようなレイアウトもあり！

- ・ 平屋でも2階建でもOK！

→ 検討の建物の中に ① どんな機能を盛り込むか、

② 城端地域の皆さんと

建物の新築、改修にこだわらず

どんな活動をするか、

- ・ 部屋のレイアウトとは言え、何もないところから考えるのは難しい

◆ 2グループに分かれて、部屋のレイアウトを考えよう ◆

- ・ ① 20:30まで

- ・ グループ毎に報告もお願いします！

◆ 次回会議 ◆

11/5(月) 19時～

- ・ ラフ図をみんなで作ろう
- ・ 全体のコンセプトを考えよう

グループでの検討のまとめ

Aグループ 中島、水上和、水上成



【配慮したい点とその理由】

1. 平屋建てでエレベーターなし
→ メンテナンス費用削減
2. にぎわい機能スペースは
様々なことが出来るように
天井を高くする。

【こだわりたい点】

1. 敷地のどこに設置するか
→ じょうはな座に並べる案
2. 会議室は、
(1階案... L字型もある
(2階案
3. 図書館とにぎわいは隣接

Bグループ 齊藤、清部、長谷川、山崎



【配慮したい点とその理由】

1. 2階建て、コンパクトに安く
2. 建物の見える化
→ 見渡せるスペース、オープンスペース
見えるキッチン etc

【こだわりたい点】

- ・ 声の出せる図書館、自習室。
- ・ 人の動きが見える。
- ・ 自由に行き来が出来る。
- ・ シェアキッチン、イトインスペース
- ・ 靴は脱がない、エレベーター必要。
- ・ 手動の玄関扉

件名	城端地域提言実現検討組織による第5-6回会議		
日時	令和元年9月19日(木) 19時～21時	場所	城端庁舎2階 202会議室
出席者	検討組織メンバー：13名、まちづくり推進係：2名		
内容	複合交流施設における新たな賑わい機能の具体的な内容の検討		
概要	◆資料の説明(事務局より) ◆質疑応答(●…メンバー発言、→…事務局発言) ●前回は、地域包括医療ケア部から来てもらって、美山荘に代わる建物の新築はせずに、という話を伺った。そのことは十分理解出来るが、高齢者福祉機能のスペースはどのくらい必要なものか。また、図書館でゆっくり本を読むスペースもどのくらい必要になるのか。市民センターについても、どのくらいのスペースが必要なのか。各種団体の会議、議会報告会、期日前投票所、確定申告相談の他、避難所などはどうするのか。これまで役場が果たしてきた機能を改めて見直した時に、市民センターの位置付けが低過ぎないか。共用会議スペースをもっと充実させるべき。 賑わい機能の捉え方は、いろいろな人が集まれるようなイメージ。これまでバラバラであった機能が一つの施設に入って複合化することで、様々な人々が集まり、集まった人々が交流出来ることで賑わいになる、と以前どなたかが仰ったが、正にその通り。テナントが入ったからと言って、そこが賑わいになるとは限らない。建物全体がまとまって、城端らしい賑わいを創出することを目指している。資料5の黄色で示してしまうと、黄色部分だけに限定されてしまうことになり、提言と異なることになってしまう。 前回、地域包括医療ケア部から来てもらったが、美山荘の代替は新築出来ない、という話を聞いたかったのではない。行政として、どんな機能が必要なのか、という意向を聞かせて欲しかったのである。各々の行政機能について、城端地域ではどんな機能がどのくらい必要なのか、各々の所管課で検討すべきなのに、この会議の所管課だけがこうやって孤軍奮闘している。市役所全体が持ち寄って考えるべき。 →資料5の色分けは、維持管理をどこが負担するのか、という視点で分けたものであり、賑わい機能を限定するための色分けではないことをご承知おきいただきたい。今検討している建物に人々がただ集うだけでは、これまでの建物がバラバラにあったのと同じではないか。図書館を中心に機能を複合化することで人々が集まり、その人々同士がどのように交流し、賑わいを作るのか。人々の集まりにどのような仕掛けやシステムを加えて、建物全体を「賑わい」としていくのか。その点について検討していただくよう、皆さんにお願いしているものである。また、避難所の件については、城端地区では、各小中学校、じょうはな座が指定されている。各地区の避難所は、2016年12月発行の「南砺市防災のてびき2016」をご覧ください。 ●市民センターは、旧役場的機能として考えていくべきでないかと考える。 →今ほど仰られたようなことは、市の担当者レベルでは意見交換しているので、各担当間でも検討していると思っている。 ●一人であれこれと心配しておられるようだが、行政機能の細かい所は行政がきちんと考えればいいのであって、この会議では、行政の事までわざわざ議論する必要はないと思っている。どのようにこの会議を進めれば良いかを毎回考えているが、この調子では、行きたくない会議になりつつある。どのようにしてドキドキ・ワクワクの会議にしていけるかを考えた発言をすべきではないか。私は、この会議で楽しみを見つけないといけない。 ●自分たちは「こんな機能やあんな機能があると良い」と夢を語ることしか出来ないのに、市はゼロベースで考えろ、と言ってくる。そんな技量は我々にはない。 ●市には、市民の夢を具現化するだけの予算も人員もない。我々市民が何かしらのサポートをしながら、何かしらのアイデアで作り上げていかなければならないと思っている。このメンバーの中にはプロの建築士もいらっしゃるから、「図面の一枚でも描いてやるぞ」となっても良いのではないかと。有料であっても、そのくらいの予算はあるだろうし。図面を描くにしても、部屋のレイアウトなどをみんなでワイワイ意見を出しながら決めていくような、そんな話合いの可能性はあると思う。 ●前回2グループで話し合ったが、たった2つのグループでも全く異なる意見が出された。今日はそれら意見をグルーピングしたり、機能同士を結び付けたりして、どのような仕掛けやシステムが必要かという可能性を考えていけば良いと思う。初めから完成形を求めずに、それこそ積んだり崩したりしていく中で、具体的なものが見えてくると良		

いのではないか。

- 黒部市で、新交流センターの建設計画が出ていると伺った。H29 年度に基本構想を策定されているとのこと。図書館を中心に、公民館、働く婦人の家、市民会館、商工会議所を複合化したもので、生涯学習、福祉、起業家支援、子育て支援などの機能が入るそうである。どういう視点での計画なのか、自分たちの検討の参考になるのではないかな。
 - 黒部の情報も取寄せて、参考にしたら良いと思う。また、射水市の旧新湊庁舎跡に複合施設を建設中との事だが、この施設のコンセプトも興味深い。
 - 前回のグループ討議で話のあった「武蔵野プレイス」も興味深い。詳しく話を伺いたい。
- 建物としては参考になるものも多い。図書館及び勤労青少年ホームの機能を残して、地域の方が使いやすい施設を作る、として検討をしていただいている。考え方なども参考になる事例はあると思うので、資料などを集めて、皆さんにご提供したい。

◆複合交流施設における新たな賑わい機能について

(●…メンバー発言、→…事務局(市)発言)

→資料 2、4 に目を通していただいた上で、今検討している施設に人々が集まってどんなことが出来るのか、持続可能な運営をしていくにはどうしたら良いか。それぞれ、アイデア出し、意見出しをしていただきたい。

◆グループ別意見交換 (A グループ、B グループ)

※詳細は、会議録別紙のとおり

- 各グループ討議の内容は、会議録に添付して皆さんに送付するので、確認いただきたい。
- 会議も重ねてきて、そろそろアウトラインの図面を描いてもらえないか。ラフ図も無い状態で議論も出来ない。
 - 施設が先ではなくて、先程の意見にもあったが、機能を複合化することで集まった人々が、どのような活動をするのかを議論していただく、今日はそんな場だったと思っている。こんなことを言うのは非常に心苦しいが、現庁舎をなぜ壊すのか？という意見が、未だにたくさん寄せられる。中身を検討した結果、示している建設コストと比較して、面積が狭いということであれば、現庁舎を改修する方法も十分に考えられる。若者や子どもたちが後にこの建物を担っていかなければならないことも考えていただくことが必要であり、住民アンケートを行うなどして、一度住民の総意を確認する必要があるのではないかと考えるがいかがか？
 - 市長に提言書を提出し、市長が「分かりました」と言ったあの場は、一体何だったのか？
 - 提言は、昨年、地域の方々が主体となって議論していただいた内容であり、今年度に入って、提言の実現に向けて検討を深めていく中で、我々行政からも意見を出させてもらっている。
 - せっかく市長に提言しているのに、ゼロから検討を始めるとは誰が決めたことか？
 - ゼロではない。提言がベースになっている。この提言を実現するために議論していただいている。
 - 100%賛成なんてあり得ない。だから、城端の皆さんの理解が得られるように良いアイデアを出して、会議のメンバーみんなで頑張ろうと言っているのだ。
 - 提言検討の折の地域別意見交換会でも、委員の皆さんにご説明いただいて、参加者のご理解を得られたように、今回も十分に説明出来る内容であれば、仮に住民アンケートを行ったとしても、結果を心配することはないのではないかな？
 - 本当にアンケートを行うのか？
 - 地域の合意形成を図っていく上でアンケート実施の可否についても、皆さんにお諮りして決めていきたい。
 - 会議を重ねてばかりいても、先に進めない。議論が先に進むように、ラフ図でも描いてくれないか、と頼んでいるのだ。
 - 中身の活動についての意見がまだまだ少ないように思うので、もっとご意見をお願いしたい。
 - 現庁舎建物を活かすのか、新築するのかの議論は、提言検討の折に結論が出ていて、それを踏まえての提言なのだから、新築すること前提で、提言実現の議論をするべきではないか？
 - 青写真があった上でアンケートを行うなら話は別だが。青写真もないのに、この施設でどんなことをするのか説明も出来ない。
 - ラフデザインを描くために、どんな中身にするのかを皆さんで議論を深めていただきたいと思っている。

- みんなで議論を深めるために、ラフデザインは必要なのではないか？来年度の予算要求に向けて速いテンポで進めようと言ってみたり、中身を詰めるまで徹底的に議論しようと言ってみたり、ゼロベースでアンケートを実施しようと言ってみたり、賑わいの部分は皆さんで儲かるようなことをしてもらわないと市ではお金が払えないと言ってみたり。私は検討会議から参加しているが、市の方針がころころ変わって、一体何を信じれば良いか分からない。
- 絵は描いてみても良いのではないか？ラフデザインと言っても、どこまでの状態のものにするのか曖昧。大まかな配置図もそうだし、細かい設計図もそうである。黒部市の交流センターに関する資料を検索してみたら、ゾーニングと言う大まかなイメージで部屋の配置図が示されていた。部屋の収容人数によって面積は決まってくるだろうし、この作業の中で部屋の配置や面積規模などの意見も出てくるだろうし。
→大まかな部屋の配置のイメージをみんなで考えていけばどうか、というご意見だが、皆さんどうか？
- 設計図の前段階のイメージ図をこの会議で検討して、それを基に図面を描いてもらえば良いのでは。
→大まかな配置を、皆さんの考えで並べていただく、という形で次回会議を行うことで良いか？
- （全員）異議なし

◆次回会議

日時…10月11日（金）午後7時から

場所…城端庁舎2階 202会議室

内容…①複合交流施設に入れる機能の配置に係るラフ図の作成
②新たな賑わい機能の具体的な内容の検討

敷地の仮設定 385.0坪 1272.73㎡ (≒ 現在の城端庁舎の 建築面積)	10.0間 18.18m 38.5間 [70.00 m]	
市民センター 30.0坪 99.17㎡	6.0間 5.0間 市民センター または 3.0間 10.0間 市民センター	●目安となる各部屋・機能の広さは、左の色塗りのとおりです。
待合ロビー 12.0坪 39.67㎡	6.0間 2.0間 待合ロビー または 3.0間 4.0間 待合ロビー	●上の敷地を目安に、各部屋・機能を配置して、理想とする間取りを考えてみてください。
図書館機能(仮) 121坪 400.00㎡	11.0間 11.0間 図書館機能(仮) または 9.0間 13.5間 図書館機能(仮)	●各部屋・機能の色塗りの形を、L字に変えたい場合などは、適宜切り貼りしてください。
男性用トイレ 7.5坪 24.79㎡	2.5間 3.0間 男性用トイレ	●玄関や廊下の色塗りは用意してありません。記入で対応してください。
女性用トイレ 7.5坪 24.79㎡	2.5間 3.0間 女性用トイレ	●2階建てにする場合は、階段・エレベーターも記入で対応してください。
バリアフリートイレ 2.25坪 7.44㎡	1.5間 1.5間 バリアフリートイレ	1間 1間 1間 × 1間 = 1坪
湯沸室 2.25坪 7.44㎡	1.5間 1.5間 湯沸室	1間 = 1.81818 m 1坪 = 3.30578 ㎡
勤労青少年ホーム機能 90.0坪 297.52㎡	9.0間 10.0間 勤労青少年ホーム機能 または 6.0間 15.0間 勤労青少年ホーム機能	
テナント(社協) 12.0坪 39.67㎡	3.0間 4.0間 テナント(社協)	
テナント(商工会) 18.0坪 59.50㎡	3.0間 6.0間 テナント(商工会)	
にぎわい機能 90.0坪 297.52㎡	9.0間 10.0間 にぎわい機能 または 6.0間 15.0間 にぎわい機能	